

# びがかいのトビ ラ



【特集】市民インタビュー

## 日本での生活をより楽しく 日本語でつなぐコミュニケーションの輪

羽村日本語学習会

P2

No.139

令和4年(2022年)  
11月1日発行  
(通巻248号)

- |            |     |           |     |
|------------|-----|-----------|-----|
| ●令和3年度決算審査 | P4  | ●議決結果一覧   | P12 |
| ●審議した主な議案  |     | ●市政について問う |     |
| 市長提出議案     | P10 | 《一般質問》    | P14 |
| 委員会提出議案    | P11 | ●議会活動報告   | P23 |

# 日

## 本での生活をより楽しく

### 日本語でつながる「コミュニケーションの輪

#### 羽村日本語学習会

市内には、さまざまな活動を通じて市民の暮らしを支えている方が大勢います。議会として、そのような方々の活動を知り、また市民の皆さんにもご紹介しながら、議会の役割を考えていきたいと思えます。今回は総務委員会が担当しました。

【表紙の写真】(令和4年9月撮影)  
毎週土曜日の定例学習会にて  
前列:スタッフ、後列:学習者の皆さん

※写真撮影時のみ、マスクをはずしています。

「羽村日本語学習会は平成12年8月に創設され、市内近隣に在住、在勤の日本語を母国語としない方への日本語学習を支援しています。日本語で日本語を教えることを大切に、レベル別のカリキュラムでグループ学習を行っており、そのために、月に1回、スタッフ同士の勉強会も行っています。

#### 参加のきっかけと

#### 活動を通して感じることは

#### 野島 佳代さん(代表)



もともと日本語教師の資格を持っていて、活動場所の福祉センターの近くに住んでいたこと

もあり、創設された年の秋に入会しました。創設者の方から引継ぎ、現在、代表を務めています。

#### 永井 眞佐江さん



秋田で日本語ボランティア初心者研修に参加し、外国語としての日本語に興味を持ち、ボラ

#### 網代 珠子さん



3年ほど前に会の日本語支援ボランティア入門講座に参加し、自分が何気なく話している日本語にさまざまなルールがあることを知り、日本語を勉強したいと思いい、参加しました。普段使っている日本語も、教えるとなると難

#### 南枝 ゆりさん



子どもの高校卒業に伴い、何か始めようと、日本語教師ボランティア入門講座に参加し、この会を見学したのがきっかけです。日本語を日本語で教えるということは興味深く、外国の方のためのボランティアですが、私自身も学ぶ事が多く、楽しいです。

#### 屋野 智香子さん



外国に行った際に、いろいろな方に助けられて英語を勉強し



▲定期的にテストを行い学習者のレベルに合わせたクラス分けをしています  
(右下: 単語レベルの教材。英語・中国語・スペイン語・ベトナム語の4か国語に対応)

たので、これからは日本に来る方たちを助けることが出来たらいいなと思ったのがきっかけです。

**福原 くにこさん**



駅で外国の方が持っているテキストが違っていたので、間違っていたので、お伝えしたら「教えてください！」と言われ、一助になればと参加しました。できないと躊躇していましたが、今は入会して楽しいです。

**古川 佳代子さん**



仕事をしていた時に、外国の方と接する機会があり、興味を持ち参加した日本語支援ボランティア入門講座の話が面白かったので入会しました。外国の方がもっと言葉を知ったらもっと楽しく日本で生活できるだろうと思っています。

**大木 春香さん**



働いている老人ホームで外国籍の介護福祉士候補生を受け入れ始め、その方たちがこの会で勉強していることを知り、大学生の頃から異文化に興味があり、自己実現につながると思い入会しました。市内に住む外国の方と接する機会ができ、相手の国や

言葉を知り、自分の成長にもつながっています。

### 活動内容は

**野島** 学習者の方の習熟度を把握し、同じレベルで学習できるように8つにクラス分けをし、数人のグループで勉強しています。カリキュラムやテキストも独自に作成し、単語の教材は4か国語に対応していますが、意味の説明など授業は日本語で行っています。

**永井** 学習者は、コロナ禍前は50人ほどいましたが、現在は15人です。ベトナムやペルーなどさまざまな国から来ているので、唯一の共通語である日本語でコミュニケーションを取っています。コロナ禍前は、はむら夏まつりへの参加など、会としてイベントも行っていました。

**網代** 月に1度、スタッフのための勉強会があり、ベテランスタッフから教え方を教えてもらっています。勉強会でのアドバイスをもとにもっと上手に教えられるようになりたいですね。

### 活動の課題は

**野島** 全てのレベルを学べば通常

会話は問題なくできるようなカリキュラムになってきているのですが、仕事の関係などでそこまで学習が続かないことが課題です。

**永井** 言葉の不安なく日常生活が送れる程度まで通い続けてくれるといいのですが。

### 今後の目標は

**古川** 学習者が日本で楽しい生活を難なく過ごしていけるよう、助けられたらいいですね。

**福原** 日本のお祭りなど感性や情緒を含め、学習者が、日本の文化を肌で感じていただければ嬉しい

です。

**野島** スタッフと学習者を増やしたいです。今いるスタッフは、勉強を楽しみ、努力しているので、今後も楽しく活動できるように、頑張っていきたいです。

**永井** スタッフのスキルアップを図り、誰もが8つのレベルを同じように支援できるように皆で勉強していきたいです。

## 羽村日本語学習会

毎週土曜日の午前に定例学習会を行っています。

**活動場所** 羽村市福祉センター

**スタッフ** 10人 ※募集中

**連絡先** 地域振興課市民活動センター係  
042-555-1111 (内線632)

※毎月1回スタッフの勉強会、毎年1、2回入門講座を開催しています。

次回ボランティア入門講座：11月12日(土)  
(事前申込制) 13:00~15:00

▼スタッフが講師となり、スタッフのための勉強会を行っています



## インタビューを終えて

相手国の国民をおもんばかることなく、世界では悲惨な戦争が続いています。その中であって、この部屋では異国の地で懸命に生きる人に寄り添いながら、楽しく学ぶ多文化共生の場がありました。講師の皆さんの真摯な姿勢に、ただ感動。活動にご興味のある方は上記へご連絡ください。

\* \* \* \* \*

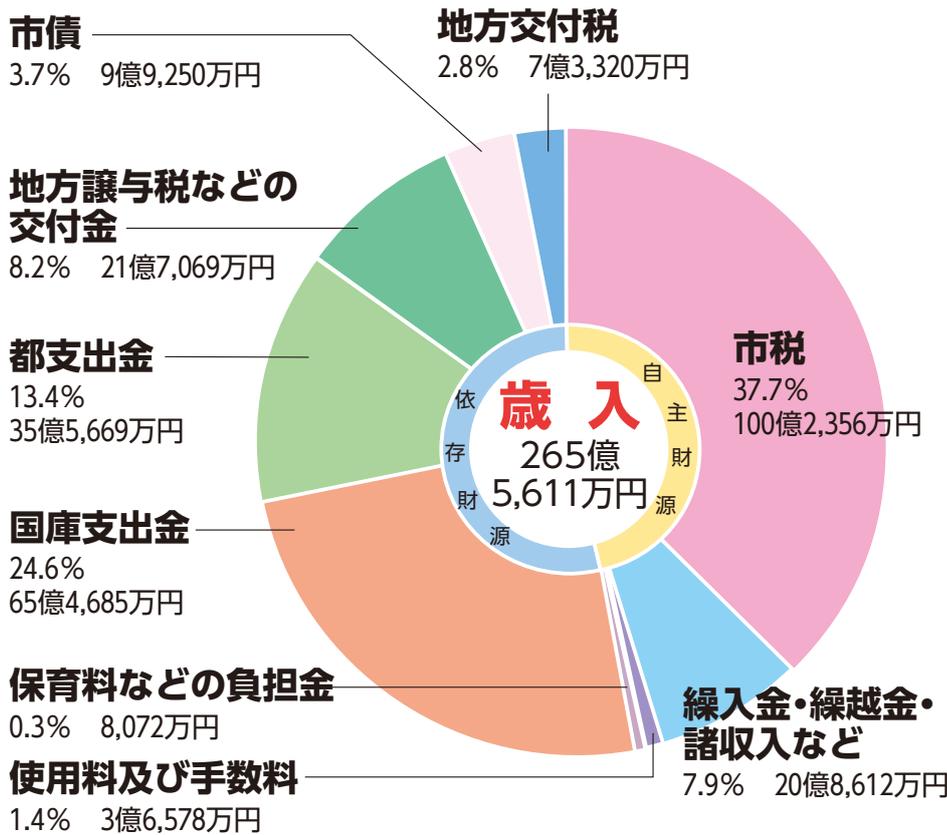
お忙しいところご協力いただき、ありがとうございました。

9月20日、21日、22日の3日間にわたり、令和3年度一般会計等決算審査特別委員会を開催しました（大塚あかね委員長、富永訓正副委員長）

市長から提出された前年度の一般会計、特別会計および公営企業会計の決算の認定に係る議案について、予算の執行が適正かつ効果的・効率的に行われたかなどを審査しました。

その結果、すべての会計の決算を認定すべきと決定しました。審査結果を、最終日の本会議で報告し、7つの会計すべてを認定しました。

特別委員会での審査の概要をお知らせします。



**前年度と比較して10・8%減少**  
 自主財源の柱である市税は依然として減少傾向  
 市税の収納率は、クレジットカード決済収納の運用を推進し、  
 98・4%に向上

一般会計

監査委員から

決算の認定にあたっては地方自治法に基づき、監査委員からの審査意見が付されています。



馳平耕三 委員  
(議員選出)



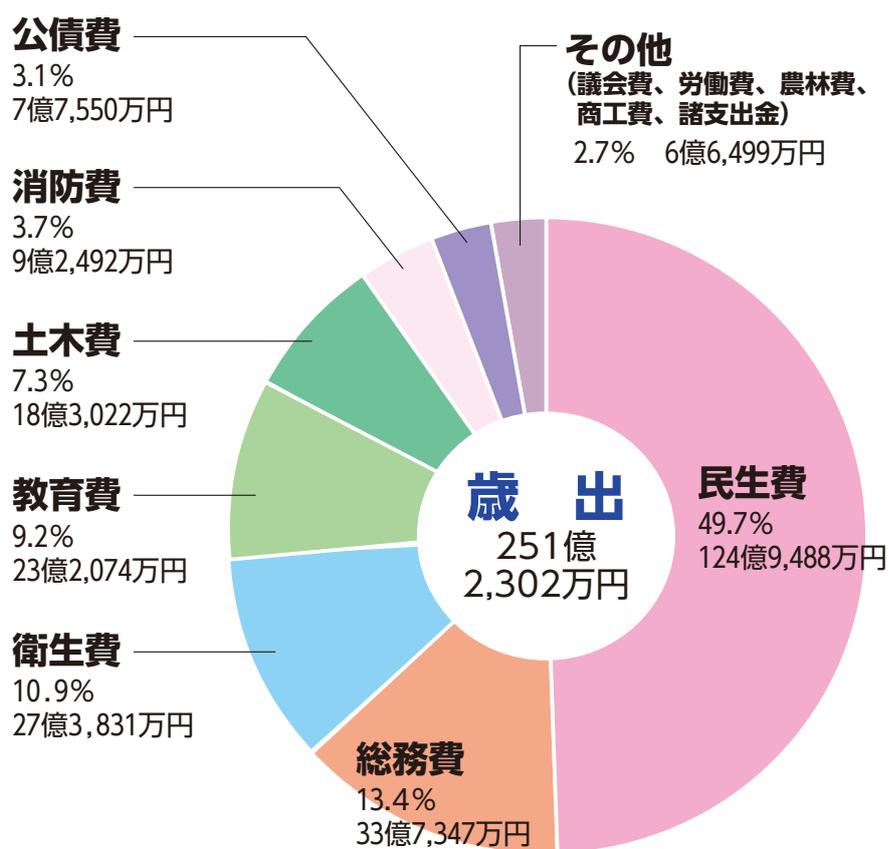
渡辺 晃 代表監査委員

それぞれの歳入歳出決算書、付属書類が法令に準拠して作成されているか、予算の執行は適正だったかなどを審査しました。

- 意見①** コロナ禍にあっても、小さな経費で大きな成果をあげることを、職員全体が自覚して市民サービスの向上に努めていることを確認した。
- 意見②** 財政構造の硬直化は改善・是正がされていない状況である。厳しい財政状況を市民に丁寧に公表し、市民・事業者・議会が現状を共有し一体となり、厳しい状況を乗り越えていくこと。
- 意見③** ネーミングライツなど民間活力の積極的導入など市民税法人分に頼らない形での歳入確保の検討を。

# 令和3年度決算を認定 交付金の増加や各種イベントの中止により 経常収支比率は一時的に改善

100.2%から91.4%へ(都内市町村平均87.6%) 引き続き行財政改革の取り組みが必要



**前年度と比較して12・7%減少**  
**感染症に伴う対策費や給付金に関する経費が増額**  
 性質別経費では、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、ワクチン接種事業などに係る人件費や臨時特別給付金などの扶助費が増加した。一方、事業の中止や縮小、前年度の特別定額給付金の終了により、歳出総額としては前年度より減少。

※基本的に、端数処理を四捨五入により行っているため、合計が一致しない場合があります。

## 令和3年度会計別決算状況

(単位：万円)

区分	予算現額	歳入決算額 (実際の収入)	収入率 (予算現額に対する歳入の割合)	歳出決算額 (実際の支出)	執行率 (予算現額に対する歳出の割合)	歳入歳出差引額	
一般会計	2,715,457	2,655,611	97.8%	2,512,302	92.5%	143,309	
特別会計	国民健康保険事業	595,599	586,493	98.5%	570,495	95.8%	15,998
	後期高齢者医療	134,765	135,259	100.4%	130,366	96.7%	4,893
	介護保険事業	400,530	391,981	97.9%	382,593	95.5%	9,388
	羽村駅西口土地区画整理事業	166,641	114,554	68.7%	106,389	63.8%	8,165

## 委員の質疑

### 一般会計歳入

**Q** 歳入の構成比率が当初予算と決算で大きく変わった背景は。

**A** 新型コロナウイルス対策やワクチン接種などにより国庫支出金が増額した影響である。

**Q** 有料広告掲載料の新規の獲得に向け、どう取り組んだか。

**A** 広報はむらやテレビはむらで募集を行った。今後は市の封筒などへの広告掲載を検討し、歳入増の取組みを進める。

**Q** ふるさと納税の寄付額が伸びていない。返礼品の品目の増加など工夫が必要では。

**A** 市の産物など総合的に効果的なものを検討していく。



有料広告募集の媒体



ふるさと納税の返礼品



消費生活相談の様子(イメージ)

**Q** 都市計画税の総額と区画整理事業への充当額は。

**A** 総額は8億2910万円であり、羽村駅西口土地区画整理事業会計への繰り出し金額は3億2845万円である。

**Q** 4年間のネーミングライツ料として400万円歳入しているが、相手方の都合で契約解除となった場合、返還することになるか。

**A** 募集要領に契約後の返金はしないことを明記しており、パートナー都合による場合でも返金は行わない。

### 一般会計歳出

#### ■ 行財政

**Q** 令和3年度の経常収支比率が91・4%に改善した要因は。

**A** コロナ禍による事業の中止に伴い物件費が減少したこと。また、臨時財政対策債、地方交付税など国の交付金等が大幅に増加したため。いずれも一時的なもので財政は依然厳しい状況である。なお、

**Q** 令和3年度の入札契約の件数と平均落札率は。

**A** 指名競争入札96件、86・4%。随意契約298件、89・8%。特命随意契約276件、99・9%。合計670件、95・1%である。

**Q** 審議会等における市民公募委員は38人で、委員総数に占める割合は4・1%であった。また、女性委員の割合は29・1%であったが、これらの点についてどう考えているか。

**A** 他市の状況と比較はできないが、第六次長期総合計画において、市民の意見を聞く場の充実を掲げていることから、市民公募委員の数を増やしていく必要がある。また、女性委員の数についても、女性の参画推進の観点から同様の考えである。

**Q** 市は、どのような考えから「デジタル平和資料館」を立ち上げ、

充実をどのように図ってきたか。

**A** これまで取り組んできた平和啓発事業をインターネットで効率・効果的に展開することが目的。1か月で201件のアクセス数があり、今後は、郷土博物館に収蔵されている資料のデジタル化を含め、企画展とも連携していく。

#### ■ 安全・安心

**Q** 街路照明灯のLED化を進めてきたが、電気料の削減効果は。

**A** 平成26年から令和3年度までで約1000万円の削減となった。

**Q** 消費生活相談は「携帯電話の契約で、不要なサービスをいつの間にか契約していた」などの専門的知識を要する事案にも対応できるのか。

**A** ITなどに関する相談も受けている。令和3年度の相談件数は教養娯楽サービスに関してが一番多く、関連会社と連携して対応している。

**Q** 令和3年度の高齢者世帯への自動通話録音機器貸与の状況は。

**A** 53台貸与した。令和2年度より貸与台数が減少しており、周知を図っていききたい。



自動通話録音機器



農業後継者の育成支援  
(写真は市内の農地)



新たに設置したオープンスペース  
と売店 (ヒノトントンZOO)

■福祉・健康

**Q** 成年後見人制度を生活が困難な方が利用する時に、どんな支援がされるのか。

**A** 生活保護受給者やそれに準ずる方が利用する場合は、費用を公費で負担している。

**Q** 子育て相談の件数が増加した理由は。

**A** 妊産婦のメンタル支援に力を入れた効果が現れたこと、コロナ禍により個別での相談支援が増えたためと考えている。

■くらし

**Q** 夏まつり・産業祭が中止となったが、イベントの中止について、市民や事業者から意見や要望はあったか。

**A** 実施しなかったとの声もあつたが、開催への心配や中止は適切な判断であったとの声もあつた。

**Q** 新たな就農者、後継者への技術取得支援をどのように行っているか。

**A** 西多摩農協や農業改良普及センターなどと連携し、農業技術取得のための研修等の案内を行っている。

**Q** 令和3年度に行ったヒノトントンZOO(羽村市動物公園)の施設改修内容は。

**A** 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、オープンスペースの増設や売店にエアコンを設置するなどの改修を行った。

■教育

**Q** 中学校移動教室は、一中、三中で中止となり、キャンセルに伴う企画料が支出されている。経緯は。

**A** 極力、当初の日程で実施できるように直前まで調整を続けたが、コロナウイルスの感染拡大により実施できなかったため、企画料が発生したものの。

**Q** 引きこもり相談会が2回実施されたが、どのようなもので、回数は充足していると考えているか。

**A** 相談会は都と共催で実施したもので、保護者が中心に参加した。年間を通じて窓口での相談を受け付けており、今後も庁内で連携を取り、適切な支援を行っていく。

**Q** 不登校の子どもにとって繋がりが必要と考えるが、どのような対応、支援をしているか。

**A** 電話連絡での登校支援や家庭訪問を行っている。また、本人が希望する場合は1人1台端末を活用し、オンラインで授業に参加できるようにし、個々に応じた対応を行っている。

令和3年度の主な事業

【子ども・生涯学習】

- ◆ICT機器を活用した指導の推進
- ◆中学校特別支援学級の開級に向けた取り組みの推進

【市民生活】

- ◆新型コロナウイルスワクチン接種事業
- ◆住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金事業
- ◆第二次産業振興計画の策定

【環境・都市整備関係】

- ◆羽村駅西口土地区画整理事業の推進
- ◆街路照明灯のLED化の推進、電気自動車等の購入など地球温暖化対策の推進

【行財政運営】

- ◆新型コロナウイルス感染症対策
- ◆クレジットカード決済収納やスマートフォン決済サービス収納の運用など市税等収納率向上の取組の推進

※内容は要約しています。詳細は会議録をご覧ください。議会終了後、2か月程度でできあがります。インターネットで会議録をご覧になる場合は、「羽村市議会」→「会議録の検索と閲覧」→令和3年度一般会計等決算審査特別委員会



## 委員の討論(一般会計)

## 区画整理事業を早期に見直すべき

反対

予算ではコロナ禍の中で暮らし・経営を守る施策が不十分だった。補正予算を12回組む中で給付金や支援金が実施され、市民への下支えは果たされたと評価する。一方、西口土地区画整理事業はコロナ禍の影響で事業量は減ったが、前市長の作成した予算を推進する内容となった。早期に事業の見直しと検証をスタートさせるべきであった。

<日本共産党>

●討論とは…本会議や委員会でも、一般会計については、7件の討論があり、採決の結果、賛成多数で可決すべきものと決定しました。

●討論とは…本会議や委員会でも、表決の前に、議題となっている案件について、賛成か反対の意見を表明することをいいます。

## 事業効率化と質の高い行政運営を

賛成

新型コロナウイルスの感染拡大により、事業の中止や縮小で経常収支比率は改善したが、厳しい財政状況は変わらない。大胆な財政再建や今後の情報システムやRPAの活用、公民連携であるPPP等の推進で事業の効率化を図り、市民サービスなど人に集中した質の高い行政運営に期待し、賛成。

<公明党>

## 次世代への積極的投資を評価

賛成

令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、ほぼ計画通りの事業を実施できた。歳入はネーミングライツ料収入など新たな財源を確保し、歳出はスイミングセンターでの工場廃熱利用や水素燃料電池車の購入など、次世代への積極的な投資を行った。今後も行財政改革を進め安定的な財政基盤の構築を望み、賛成。

<新緑会>

## 検証会議の設置等を評価

賛成

橋本市政がスタートした年であったが、5月から始まった新型コロナウイルスワクチン接種に、各課からの応援体制を組んで全力で取り組んだこと、厳しい財政状況の中でも財政調整基金を20億4,700万円まで確保したこと、第三者で構成する羽村駅西口土地区画整理検証会議の設置を公表したこと等を評価し、賛成。 <市民ネットワーク>

## 強固な財政基盤の構築を

賛成

新型コロナウイルス感染症の収束が見えない中、感染拡大の防止、市民生活や市内企業の事業活動の支援など、安全・安心のまちづくり、少子高齢化への対応、都市基盤整備などの施策を着実に推進し、市民福祉の向上のための事業に積極的に取り組んでいる。今後も市税収入の増減に左右されない強固な財政基盤の構築を。 <新政会>

## 市民への全庁的な取組みを評価

賛成

令和3年度はコロナ禍の2年目であり、市民へのワクチン接種の体制づくりや、母子相談・教育相談など、市民の命や暮らしを守ることを最優先に全庁をあげて取り組んだ年だったと考える。非常に困難な年であったが、この経験は羽村市の新たな発展につながると信じて賛成。

<自由民主党創生>

## 事業効果、改善点を全体として評価

賛成

予算案で指摘した点をチェックし、事業効果、改善点を審査した。歳入は国の交付金などで増加したが、税収減が続く財政は厳しい。コロナ禍で中止した事業もあり、黒字決算となったが、経常収支比率の改善も一時的なものである。区画整理土地権利者の会への補助金19万円などは認められないが、全体として評価し、賛成。 <世論>

特別会計・公営企業会計

■国民健康保険事業会計

**Q** 国民健康保険税の収納率が向上したが、どのように取り組んだか。

**A** スマートフォン決済アプリやクレジットカード決済での納付を推進した。また、令和元年度より徴収体制を改め、滞納整理を積極かつ確実に取り組んだ。

**Q** 糖尿病性腎症重症化予防についての取組みは。

**A** 糖尿病の方へ保健指導の勧奨通知を行い、希望者に対し、面談等による保健指導を行った。

■介護保険事業会計

**Q** 在宅医療と介護を一体的に提供できる体制づくりに向け、各事業者との連携はどうだったか。

**A** 地域包括支援センターと定期的に会議を行い情報共有し、取組みを進めている。また、地域の事業者とも連携を進めていく考えである。

**Q** 介護予防事業は、人数を制限して開催したが、参加者の要望などを聞く機会を設けているか。

**A** 感染防止のため、人数制限を設けた。参加者に介護予防について正しく理解いただけるよう取り組んでいく。アンケートに意見の記入があれば参考としていく。

■羽村駅西口土地区画整理事業会計

**Q** 事業の財源である国庫補助金等が減額になった理由は。

**A** 新型コロナウイルス感染拡大により建物調査を控えたこと、埋蔵文化財調査の進捗の影響などにより、補助金の対象となっていた建物移転が先送りになったことが要因である。

■水道事業会計

**Q** 有収率は92・5%だが、不明水への対策と取組みは。

**A** 漏水調査を行い、37か所を早急に修繕した。原因は経年劣化等によるものである。

■下水道事業会計

**Q** 下水道使用料の値上げについて検討はしたか。

**A** 見直しが必要であり、今後、現状を市民にお知らせし、改定を検討していく。

委員の討論(介護保険事業会計)

介護保険制度改善の働きかけを

令和3年度の予算審査でも指摘したが、連続した保険料の値上げはコロナ禍で一層多くの市民に大きな負担になっている。国・都の負担の少ない介護保険制度は市民や市にとって負担が大きすぎ、改善を働きかけるべきである。市民の生活を一層困難にさせる値上げを含む決算についても反対。 <日本共産党>

反対

介護保険事業会計、羽村駅西口土地区画整理事業会計にはそれぞれ討論がありました。

その他の会計については、反対・賛成の討論はなく、全会一致で認定すべきと決定しました。

委員の討論(羽村駅西口土地区画整理事業会計)

計画的で効率的な事業推進を

令和3年度決算は、業務委託費の補償費が移転棟数減少に伴い大きく減少した。これは、移転対象者に寄り添った移転協議の結果であると理解できる。財源の面では、国・都補助金を可能な限り活用し市民負担軽減が図られているところが伺える。厳しい財政状況下ではあるが、優先順位をつけ、計画的で効率的な事業推進に期待し、賛成。 <新国会>

賛成

今こそ事業の見直しを

広い道路を造るため、1,000棟を取壊し・移動をする区画整理は、膨大なCO<sub>2</sub>の発生で地球温暖化防止にも反する事業である。多くの住民が怒り苦しみ、反対している。すでに事業費110億円を投じたが市民に役立つ道路は皆無。「事業検証」を前に工事が進まず、5億円削減されたが、今こそ事業の見直しが必要。 <世論>

反対